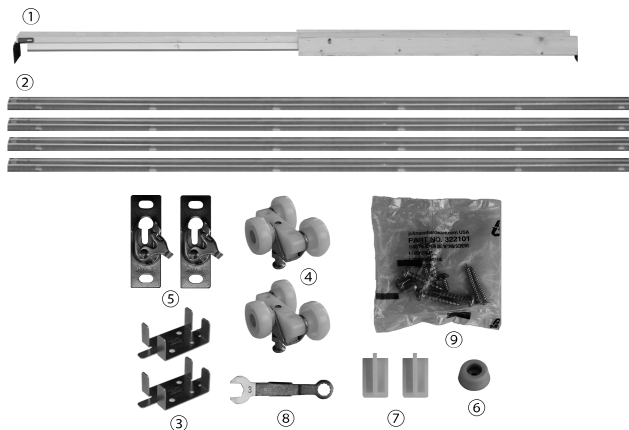


○ 各部材名称

梱包内容	数量
上部レール	① 1本
スチール間柱	② 4本
床金具	③ 2ヶ
戸車	④ 2ヶ
プレート	⑤ 2ヶ
ドアバンパー (戸当り)	⑥ 1ヶ
ガイド (振れ止め)	⑦ 2ヶ
レンチ ※	⑧ 1ヶ
ビスセット	⑨ 1ヶ

※建具の傾き等の調整の際に必要となります。
引き渡しの際、お施主様へ渡して下さい。
(市販のものとは違い、厚さが薄く柄の部分に曲がっています。
市販の厚く柄のまっすぐなものでは調整作業が困難になる場合があります)

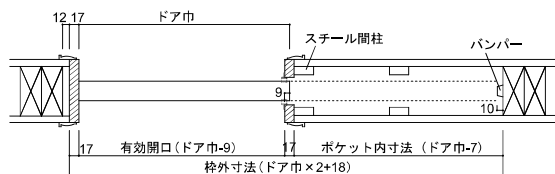


ポケットドアフレーム施工説明書

施工前に必ずこの施工説明書をお読み下さい。

○ 納まり図

横断面図

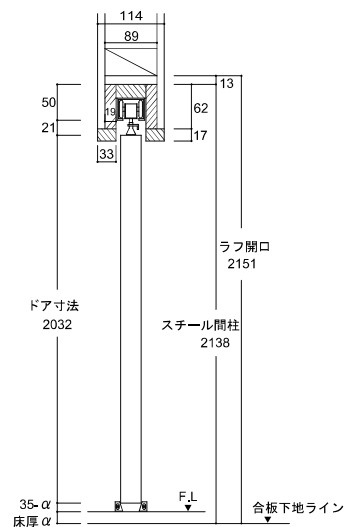


●ヘムロック

	本体寸法		枠外寸法		ラフ開口		有効開口
	W	H	W	H	W	H	W
2-0"	610		1238		1250		601
2-2"	661		1340		1352		652
2-4"	711	2032	1440	2138	1452	2151	702
2-6"	762		1542		1554		753
2-8"	813		1644		1656		804
3-0"	914		1846		1858		905

縦断面図

※ フローリング施工前の仕様です。



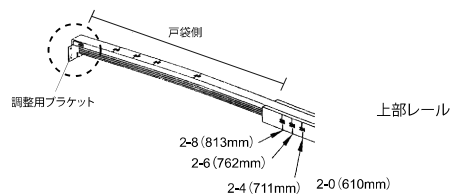
ポケットドアフレーム施工説明書

この度は、ポケットドアフレームを採用いただきまして誠にありがとうございます。
施工前には必ずこの施工説明書をよくお読みいただき、ご理解の上、施工して下さい。

○施工手順

① 上部レールの調整

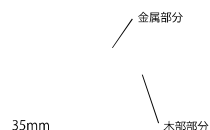
- 1) 上部レールの戸袋側の調整用ブラケットを取り外します。



- 2) 戸袋側レールの木部部分をドア幅のマークに合わせて切り落とします。

木部部分

- 3) 上部レールを裏返し、戸袋側レールの金属部分のみを[2]で切り落とした木部部分より35mm短く切り落とします。



- 4) 調整用ブラケットを再びビスで取り付け、ブラケットの横を釘で固定します。

両側釘で固定

- 5) 上部レールを横にし、そのドアサイズのところで木部部分のみを切り落とします。

木部部分

- 6) 反対側も同様に木部部分を切り落とします。

② 上部レールの取り付け

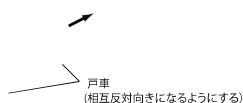
- 1) 開口部の設定

- ・開口高さ: 合板下地よりまぐさ下端まで2,146mm以上
- ・開口幅: ドア幅×2+25mm

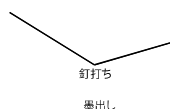
- 2) 開口部両側の柱の中心を出し、高さが合板下地より2,051mmのところまで釘の頭を約3mm残して釘打ちします。



- 3) 戸車をそれぞれが反対向きになるように上部レールに差し込んで下さい。

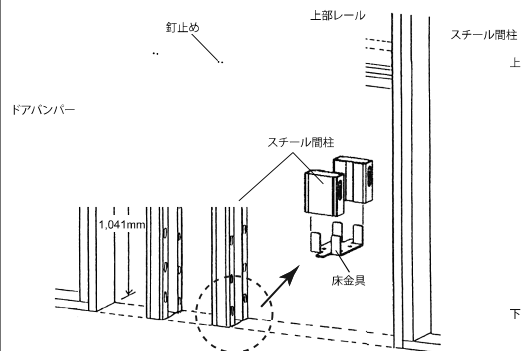


- 4) 床に墨出しをします。
次に、上部レールのブラケットを釘の頭に引っかかるように差し込み、さらにブラケットを釘で固定します。
この時必ず上部レールの水平にご注意下さい。



③ スチール間柱の取り付け

- 1) スチール間柱の金属カバー部分に床金具を差し込みます。
次に上部レールにスチール間柱を上下方向を確認し押し当てて釘止めて下さい。また、垂直をよく確認し床金具も釘で固定して下さい。



- 2) 同様にもう1組のスチール間柱を戸袋の中間の位置に取り付けます。
- 3) ドアバンパー (戸当り) を床から1,041mmの位置にビス止めます。

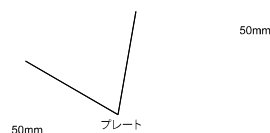
④ 石膏ボードの施工

- 1) 戸袋やまぐさ部分に石膏ボードを取り付けます。この際、スチール間柱の間に幅54mm程度の補助材を一時的に入れてやればボードを打ち易くなります。
また、ドアをキズつけないため釘がスチール間柱内側に出ないように注意して下さい。
- 2) 無塗装品のドアには塗装を施して下さい。

⑤ ドアの吊り込み

- 1) ドアの上端小口にセンターラインをひき、ドア左右の端から50mmの位置に付属のビスを使ってプレートを取り付けます。
この際ロックタブが同じ側に並ぶように取り付けて下さい。

*ロックタブの位置が同じ側に来るようにする。



- 2) ドアを持ち上げ戸車のピボットピンをプレートに差し込み、引っかけた後ロックタブで固定します。
戸車のナットの締め付けを調整し、ドア下端の高さやドアの滑り具合を確認して下さい。



⑥ ケーシング(額縁)、ガイドおよび化粧上枠の取り付け

- 1) 開口部両側に縦枠を取り付けます。
- 2) ドアのガイド(振れ止め)をドアの下端にぶつからないようにビス止めて下さい。
- 3) スチール間柱内側ラインからドア表面まで5mm程度のクリアランスをとるように化粧枠(縦枠、上枠)の幅を決め、後でドアの交換ができるように32mmのビスで固定します。その後ケーシングを3方に廻しますがこのケーシングを止める釘が化粧上枠に当たらないよう打つて下さい。

